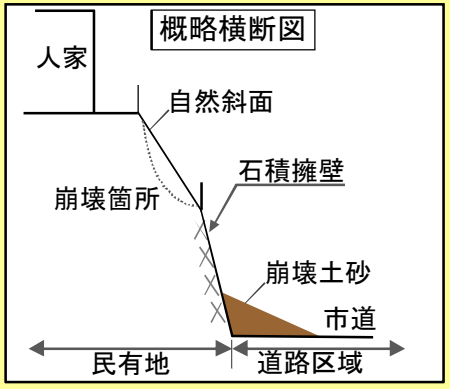
神奈川県逗子市のがけ崩れをふまえた急傾斜地（がけ地）の点検を行う際のポイント

・令和2年2月5日に神奈川県逗子市で道路に隣接する民有地斜面が雨が降っていないにもかかわらず斜面が崩落し、歩道の歩行者が土砂に巻き込まれ死亡するがけ崩れが発生しました。
・斜面は、風化が進行して無降雨であっても突然崩壊する危険性があるため、土地所有者に対して、斜面の自主点検時のポイントを示しました。※風化：地表の岩石が気温、雨水などの作用により次第に破壊され土や砂になること

◆がけ崩れの概要

発生日時：令和2年2月5日　8時頃
発生場所：神奈川県逗子市池子
崩壊規模：幅8～9m、長さ8m、深さ1m程度
被害状況：死者1名（歩道歩行中に崩落土砂に巻き込まれ死亡）



◆崩壊の原因

①風化した凝灰岩（ぎょうかいがん：火山灰が固まった岩石）が崩落したものと考えられる。
②植生が貧弱であるうえ、地表温度の変化や風の影響を受けやすく乾燥・湿潤を繰り返し受け易いなどの悪条件が重なったものと推察される。

◆斜面点検時のポイント

点検時に、①斜面に亀裂や、②浮き石、③落石がある場合は、風化の進行により斜面が不安定になっている可能性があるため注意が必要です。
※植生が貧弱な場合には、風化が進みやすいため、特に注意が必要です。

①亀裂

②浮き石

③落石

変状が見られる場合 → 市町村等に連絡

◆点検時にお役立ていただきたい前兆現象は、以下を参考ください
https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html